

三浦市社協企画
ボランティア講座

男性の応募さっぱり

阪神大震災で脚光を浴びて以来、活躍のすそ野が広がっているボランティア。高齢化が進む三浦市でも、福祉団体などが精力的に活動、その担い手は大半が子育てを終えた女性だ。草の根パワアの育成を目指す市社会福祉協議会では、仕事などできつかけがつかめない男性にも関心を持ってもらおうと、親子で参加できる講座を企画しているが、人気はいまひとつ。

市社協では、「男性でも座でも、半数を女性が占め興味のある人は少なくない」としている。特に、五、六十代は、肩の力を抜いて、まの主婦が多く、若者の受講は参加してみたい(市社協)と呼び掛けている。市社協は昨年、市ボランをみて、メンバーはほとんど主婦。複数の住民がチームを組んで、独居老人の生活を見守るなどする小地域生活支援チームも、やはりウーマンパワーに頼りがちだ。一方で、市ボラン

気軽に参加 呼び掛ける

7/29
神奈川
から
の問
い合
わせ
も多
いと

として本年度初めて、①介助・移送ボランティアの養成②ボランティアの基礎や心構えを身に付ける③男性の関心を高める④コースが選べる体系的な講座を企画。「興味に応じて幅広い層の人が参加できるように工夫した」という。

しかし、三コース合計の受講者約百人のうち、七割以上が女性、男性向けの講習しているのは、奔放な発

想で広がるネットワーク。週末に汗する父の背中も、子供にとってはひときわ大きく見えるのでは。男性のための講座は三十一日午前九時半から(材料費八百円)。ネットボールを使ったロケットつくりに挑戦する。来月七日には、親子向けに開催する。問い合わせは市社協 ☎0468(82)1111。